記者発表資料

令和　2年１１月 12日
秋田河川国道事務所
湯沢河川国道事務所
能代河川国道事務所

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

冬タイヤ装着率　７０．３％

～秋田県内の直轄国道峠部３地点で調査（11/9 実施分）～

地点ごとの装着率

国道46号	仙岩峠付近（野中交差点）	８４．５％	（前回１４．２％）
国道13号	雄勝峠付近（新万石橋交差点）	６３．０％	（前回３１．０％）
国道 7号	矢立峠付近（白沢交差点）	６３．０％	（前回２６．０％）
	３地点の平均	７０．３％	（前回２３．５％）

※各調査地点毎に四捨五入しているため、3地点の平均値と合わない場合があります。
※過去の装着率については、別添をご覧ください。

調査趣旨

秋田県内では、11月に入ると降雪や朝夕の気温低下により、路面が滑りやすくなり、夏タイヤ使用によるスリップ事故や、走行不能に陥る車両、ノロノロ運転による渋滞発生などが非常に多くなります。

その対策として、平成16年度から初冬期の11月を「冬タイヤ装着月間」として早期の冬タイヤ装着を促す運動を実施してきたところです。

本運動の一環として、平成23年度から11月の毎週はじめに「冬タイヤ装着率調査」を実施し、その結果を広くお知らせすることにより、冬タイヤの早期装着を啓発しています。



上記装着率は抽出データです。
冬タイヤ装着で**安全で確実な冬道運転を！**

【発表記者会】

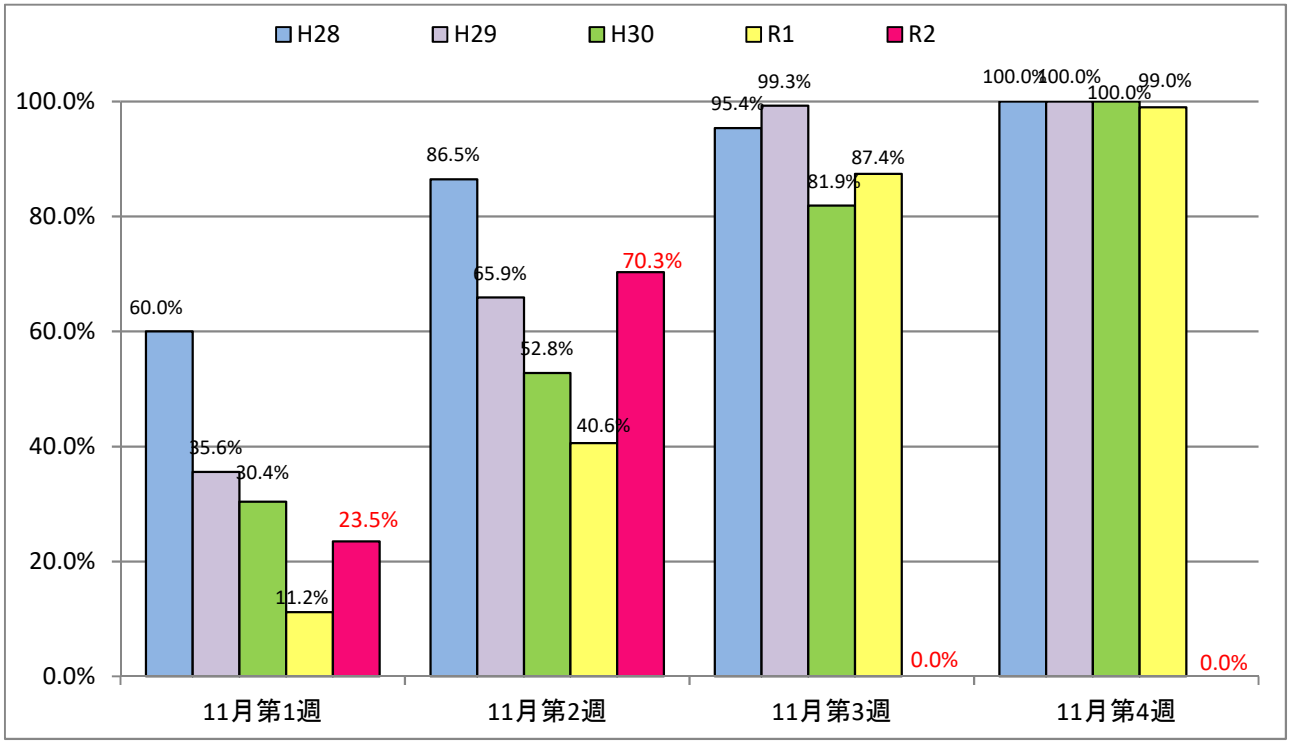
秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢支局、秋田民報、秋田建設工業新聞社、建設新聞社秋田支局、能代記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ

問い合わせ先

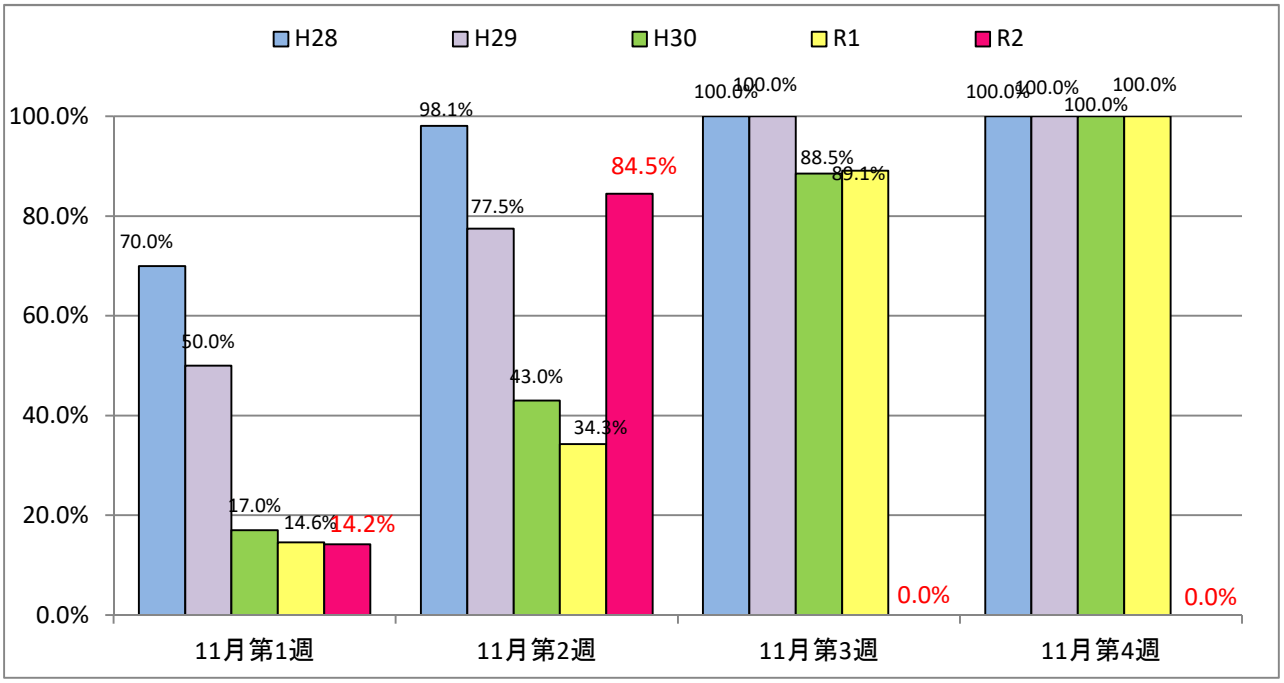
国土交通省　東北地方整備局
秋田河川国道事務所　電話　０１８－８２３－４１６７（代表）
副所長（道路）　五十嵐（いがらし）　一之（かずゆき）　（内線２０５）
湯沢河川国道事務所　電話　０１８３－７３－３１７４（代表）
副所長（道路）　岡本（おかもと）　守（まもる）　（内線２０５）
能代河川国道事務所　電話　０１８５－７０－１００１（代表）
副所長（道路）　佐藤（さとう）　幸喜（こうき）　（内線２０５）

○冬タイヤ装着率【平成28年度～令和2年度の比較】

【3地点合計】

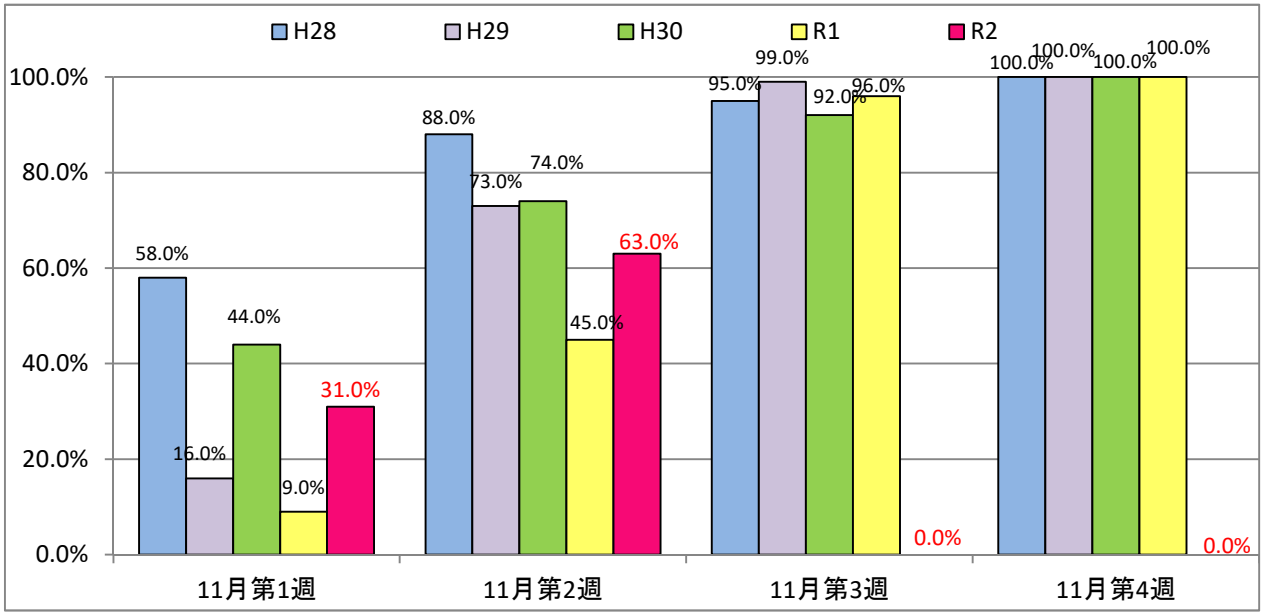


【R46　仙岩峠】

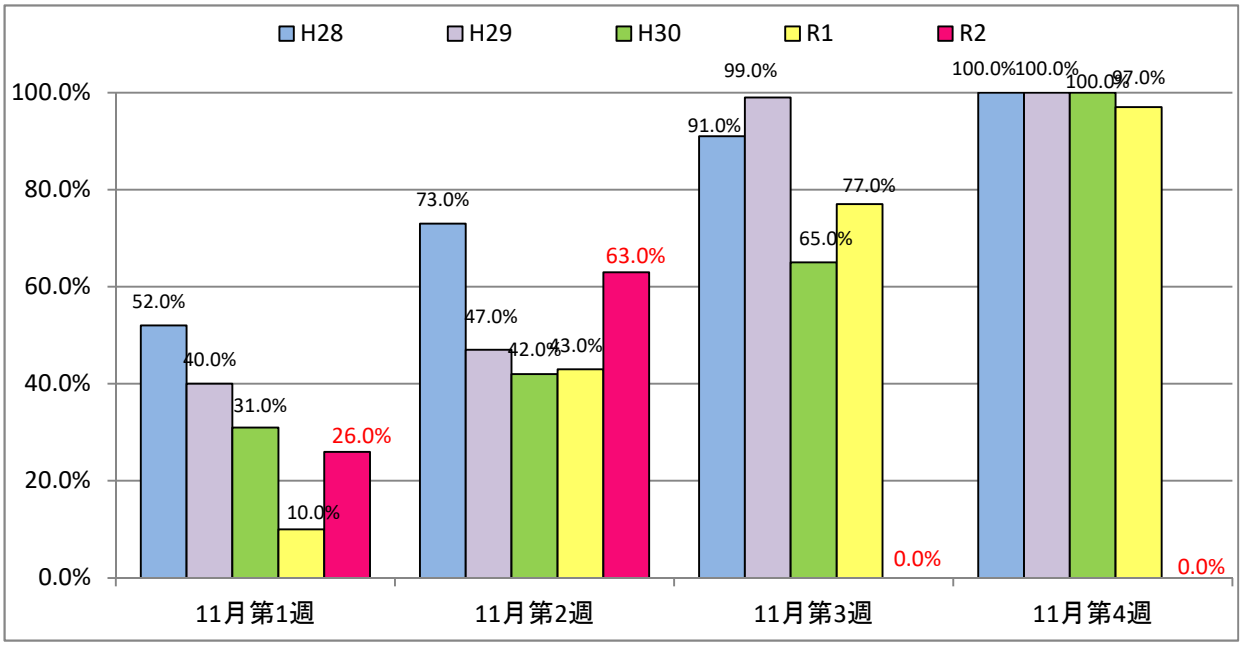


○冬タイヤ装着率（平成27年度～令和元年度の比較】

【R13　雄勝峠】



【R7　矢立峠】



※調査方法について

本調査は、3地点の交差点部において1地点につき概ね100台、信号で停車している車輌を確認し、冬タイヤ等（全車輪に滑り止めの性能を有するタイヤ又はチェーンを取り付ける等、滑り止めの措置を講じている車輌）を装着している車輌をカウントしています。

「冬タイヤ装着率」とは、冬タイヤ等を装着して いる車輌を全調査車輌（普通車や大型車の合計）で除法算出しています。